

## 1 校名

昭和55年8月23日、仮称「住吉第三小学校」で校舎建築の起工式が行われた。同年9月住吉小学校及び開北小学校学区の在学家庭を対象に校名の募集を行い、教育委員会事務局で検討の上、同12月、教育委員会において「中里小学校」と命名することが議決された。「古くは、中里長者豪族の居住地」として知られた地名に因んだものとされている。

## 2 校章



開校の翌年、昭和56年5月、校章の公募を行った。25点の応募があったが採択に及ぶものがなく、浅井元義先生（河北展招待画家・当時石巻女子高等学校教諭）に制作を依頼した。「中里」の「里」と校木の「槐」をデザインしたもので、中央の丸の中は「中」と「小」と子供の「顔」を表したもので、全体として「中」「里」「小」を表している。配色は鉄紺を地色に「小」を明るいオレンジ、他は金色でまとめている。

モダンな校舎と元気な子供、限りない発展・充実をめざすフレッシュな学校をイメージした斬新な校章として制定された。

## 3 校木



「槐」（えんじゅ）の木は中国原産の、別名「三公」（三公位三槐二面ス・中国、周代、朝廷に槐を三本植えて三公―最高の三つの位一の座を示した）の名もある品位の高い名木と言われている。堅い用材で床柱や花台等に適する銘木である。

「槐」のように堅実にして人生の風雪に耐えうる心身ともに強い人間の育成と三公の故事にあやかり、国家社会につくす有為な人材の輩出を願って選定され、校木として制定された。

昭和56年5月23日を吉辰とし、校門の南側に3本の槐を「三公」の故事にあやかって校長、PTA会長、児童会長の3人で鋤入れをし、植樹祭が行われた。

## 4 校歌

歌詞は、橋本品先生（郷土史家で元石巻市図書館長）に依頼し、中里の歴史と伝説をふまえ「槐」と母なる悠久の北上川や牧山を歌い込んでいただいた。

作曲は新田昭夫先生（当時石巻市立女子高等学校教諭、後、山下中学校校長）に依頼し、歌詞とあいまって優しさの中にも格調高く、上品で親しみのあるメロディーの新鮮な校歌として仕上げていただいた。